

平成24年度 事業報告書

平成25年6月

地方独立行政法人長崎市立病院機構

目 次

I 法人の概要

1	名称	1
2	所在地	1
3	設立年月日	1
4	設立目的	1
5	役員の状況	1
6	職員数	1
7	組織図	1
8	設置及び運営を行う病院	2
9	新市立病院の概要	3
10	理念等	4

II 平成24年度における業務実績報告

1	法人の総括・重点施策・課題	5
2	年度計画の大項目の概要	7
3	目標値の達成状況	9

I 法人の概要

1 名称

地方独立行政法人長崎市立病院機構

2 所在地

長崎市新地町6番39号

3 設立年月日

平成24年4月1日

4 設立目的

長崎市における医療の提供、医療に関する研究、技術者の研修等の業務を行うことにより、市民の立場に立った質の高い医療を安全かつ安定的に提供し、もって市民の生命及び健康を守ることを目的とする。

5 役員の状況

(平成25年4月1日現在)

役員	氏名	備考
理事長	兼松 隆之	・地方独立行政法人長崎市立病院機構理事長 兼長崎市立市民病院院長
副理事長	松本 晃	・特定非営利活動法人日本から外科医がいなくなることを憂い行動する 会理事長 ・カルビー株式会社代表取締役会長兼CEO
理事	杉町 圭蔵	・九州大学名誉教授 ・遠賀中間医師会おんが病院・遠賀中間医師会おかがき病院統括院長
	鈴木 伸	・医療法人昭和会恵美須町病院院長 ・前長崎市立市民病院院長
	田浦 幸一	・前地方独立行政法人長崎市立病院機構 長崎市立病院成人病センター院長
	千葉 憲哉	・医療法人祥仁会 西諫早病院理事長兼院長
	西田 伸二	・地方独立行政法人長崎市立病院機構企画運営部長
監事	川崎 清廣	・川崎清廣税理士事務所所長
	白石 裕一	・前長崎市上下水道事業管理者

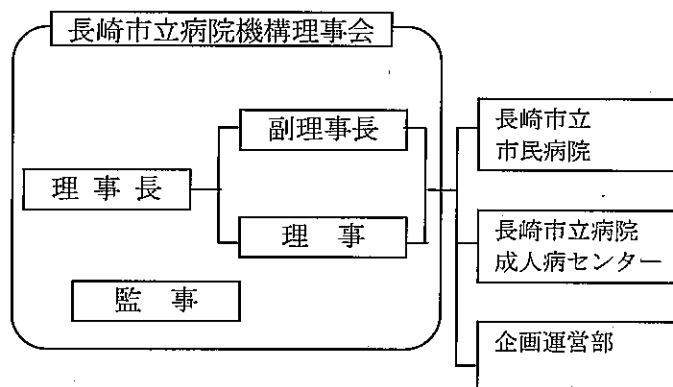
6 職員数 (平成25年4月1日現在)

区分	職員数
長崎市立市民病院	624人
長崎市立病院成人病センター	169人
合計	793人

※嘱託員、臨時職員を含む。

7 組織図

右図のとおり



8 設置及び運営を行う病院

(平成25年4月1日現在)

	長崎市立市民病院	長崎市立病院成人病センター
所在地	長崎市新地町6番39号	長崎市淵町20番5号
開設年月日	昭和23年12月1日	明治33年12月
院長	兼松 隆之	田所 正人
許可病床数	414床	132床
一般病床	414床	96床
結核病床	一床	30床
感染病床	一床	6床
主な役割及び機能	<ul style="list-style-type: none"> ・二次救急医療輪番制病院 ・地域周産期母子医療センター ・地域医療支援病院 ・地域がん診療連携拠点病院 ・災害拠点病院(地域災害医療センター) ・臨床研修指定病院(医師臨床研修センター) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第二種感染症指定医療機関(6床) ・結核病床(30床) ・人工透析
診療科目	<p>33科目</p> <p>内科、心療内科、精神科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、消化器外科、循環器内科、リウマチ科、小児科、新生児小児科、外科、整形外科、呼吸器外科、小児外科、皮膚科、泌尿器科、肛門外科、産科・婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、乳腺外科、胸部外科、病理診断科、ペインクリニック・緩和ケア内科、糖尿病代謝内科、内分泌内科、形成外科、脳神経外科、臨床腫瘍科</p>	<p>9科目</p> <p>内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、心臓血管外科、泌尿器科、放射線科、血液内科、腎臓内科</p>
敷地面積	5,499m ²	12,359m ²
建物規模	<p>本館 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階 地下1階</p> <p>南病棟 鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階</p> <p>管理棟 鉄筋コンクリート造 地上4階</p> <p>建築面積 3,651.98 m²</p> <p>延床面積 18,844.45 m²</p>	<p>本館 鉄筋コンクリート造 地上5階 地下1階</p> <p>中央棟 鉄筋コンクリート造 地上3階</p> <p>南病棟 鉄筋コンクリート造 地上2階</p> <p>建築面積 5,018.927m²</p> <p>延床面積 12,559.285m²</p>

9 新市立病院の概要

(1) 新市立病院が担う主要な機能(担う領域)

- ・ 救命救急医療 (ER型救命救急センターの設置、ヘリポートの整備)
- ・ 高度急性期医療(脳血管疾患医療、心疾患医療、がん医療)
- ・ 周産期医療
- ・ 政策医療(災害医療、結核医療、感染症医療)

(2) 施設概要

項目	新市立病院	市民病院	成人病センター
病床数	513床	414床	132床
敷地面積	11,018 m ²	5,499 m ²	12,359 m ²
病院延べ床面積 (病院機能部分面積)	40,600 m ² (38,700 m ²)	18,845 m ²	10,341 m ²
駐車場台数 (延べ床面積)	350台 (9,915 m ²)	85台	60台
年間延べ入院患者数 (一般病床利用率)	160,000人 (86.0%)	120,097人 (80.6%)	25,985人 (74.2%)
年間延べ外来患者数	200,000人	125,908人	32,916人

※ 市民病院・成人病センターの患者数は、平成24年度の実績

(3) 整備・運営スケジュール

項目	期日
設計着手(基本設計5ヶ月、実施設計9ヶ月)	平成23年1月
「Ⅰ期工事の建物」の建設工事着手	平成24年2月
「Ⅰ期工事の建物」の引渡し、維持管理業務開始	平成25年11月
「Ⅰ期工事建物」の開院予定日	平成26年2月
市民病院建物の解体工事着手	平成26年2月以降
「Ⅱ期工事の建物」、「駐車場棟」の建設工事着手	平成26年8月
「駐車場棟」稼働	平成27年2月
「Ⅱ期工事の建物」の引渡し時期	平成28年1月
「Ⅱ期工事建物」の開院予定日	平成28年5月1日
維持管理業務(保守管理・清掃・保安・利便施設運営)期間終了	平成43年3月末

10 理念等

【長崎市立病院機構】

ビ ジ ョ ン	まず、患者さんとそのご家族から、次に職員とその家族から、そしてコミュニティ（地域）から、最後にオーナー（長崎市）から尊敬され、賞賛され、そして愛される病院となる。
ミ ッ シ ョ ン	<p>第1 患者さんやそのご家族に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・質の高い医療を提供 ・何が提供できるかではなく、患者さんが何を求めているか ・その要望に迅速に、丁寧に対応 <p>第2 職員とその家族に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・責任と誇りを持って仕事に従事できる環境とシステム ・労働条件や待遇は公正かつ適切なものに ・自己責任と能力とやる気につながる評価を導入 <p>第3 地域に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域医療への配慮と医療過疎地域への協力 <p>第4 長崎市に対して</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健全な利益を追求し、赤字を出さない ・新しいことにもチャレンジ ・自らの責任と償い

【長崎市立市民病院】

理 念	いかなる時もやさしさをモットーとして、市民の健康を守るため、地域と密接な連携のもと良質で安全な医療を提供します。
基 本 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1 病気を治すために必要な最新で正しい知識・技術の習得に努めます。 （キーワード：科学的、理論的、EBM、正確、安全性、高度医療） 2 患者さんとその周囲の人々を癒す気持ちを持ち続けます。 （キーワード：人間性、哲学、宗教心、暖かさ、奉仕） 3 地域医療支援病院として、病院内外の連携を密に地域で頼れる存在であり続けます。 （キーワード：協調性、チーム医療、連携、地域医療）

【長崎市立病院成人病センター】

理 念	私たちは、心のこもった医療、患者様の立場にたった医療を提供します。
基 本 方 針	<ol style="list-style-type: none"> 1 長崎市の北・西部地域において、内科を中心とした紹介型病院として、地域医療における病病・病診連携の充実に努める。 2 結核・感染症・透析の特殊医療、政策医療を担う病院として質の高い医療の提供に努める。 3 救急告示病院としての役割を果たし、救急医療の充実に努める。

II 平成24年度における業務実績報告

1 法人の総括・重点施策・課題

平成24年4月1日、これまで長崎市の組織であった病院局から独立し、地方独立行政法人法の利点を活かし、適正かつ効率的な業務運営を行うため、地方独立行政法人長崎市立病院機構を設置した。

地方独立行政法人への移行初年度である平成24年度は、重要事項の決定機関である理事会の設置、市民病院及び成人病センターの両病院の組織体制の確立や人員体制の整備など、法人の基礎となる運営体制の確立を行った。

市立病院は、市民病院現在地及び隣接地で建設事業を行っており、平成26年2月にI期棟建物が開院し、平成28年5月には、成人病センターを統合して、新市立病院の全面開院を迎えることとなっている。

新市立病院では、救命救急医療、高度・急性期医療、周産期医療及び政策医療を提供することとしており、特に救急医療については、「ER型救命救急センター」を設置し、休日や深夜など時間外の疾病はもとより、緊急手術を要する疾病にも24時間365日対応できるように体制を整備することとしている。

平成24年度は、この「ER型救命救急センター」の稼働を見据え、市民病院において、毎朝、前日の救急患者の受け入れ状況について報告会を実施するとともに、医師等の当直体制の見直し及び待機体制を新設し、救急体制の基盤構築を行い、さらに、新市立病院での診療科の充実を図るため、4月1日から形成外科を新設し、診療機能の充実を行った。

一方、新市立病院の開院に向けては、患者に対して今まで以上に良質な医療を提供するため、医師、看護師等の確保が必須の課題である。地方独立行政法人化以前は、職員の定数に縛りがあり、必要な人員を確保することが困難であったが、地方独立行政法人化後は、地方独立行政法人としての利点を活かし、医師をはじめ看護師等医療従事者について、必要な人員の確保に取り組んだところである。

特に、看護師については、複数回の採用試験を実施するなどし、平成25年度からの7対1看護体制の確立に向け、その基礎を確立した。

このほか、地域の医療機関との連携を充実するため、地域医療連携室を「医療連携センター」に改名し、専任の医師を配置してその取り組みを強化するとともに、患者サービスの向上を図るため、接遇担当の職員を配置し、全職員を対象とした接遇研修を実施するなどして接遇の改善に努めた。

経営面については、長崎市からの運営費負担金の収入があるものの、診療単価の上昇等により、両病院で約4億2,000万円の黒字を計上することができた。市民病院では、平均在院日数の短縮や患者サポート体制充実加算等での機能評価係数アップによる診療単価の上昇等により、約84億円の収益を確保し、職員の新陳代謝等による給与費の減のほか、費用の削減により、当該費用を約79億円に圧縮した結果、約5億3,000万円の黒字となった。一方、成人病センターでは、心臓血管外科医が不在となったこと等により、入院患者が減少したため、約1億1,000万円の赤字となったが、今後は他病院からの紹介患者を増やすなどし、赤字を減少できるよう対策を講じることとしている。

今後もより安定的な経営を行うため、引き続き収入増の対策と費用の縮減に努めるとともに、市民に愛され、親しまれ、信頼される病院を目指し、良質な医療サービスの提供を行っていく。

また、今後の課題については、自助努力により経営の改善を目的とし、具体的方策を考え実践していくために、職員の経営の意識改革を図る必要がある。

そのためには、機構内組織の迅速な情報伝達と共有化を目的とし、組織を全面的に見直し、全ての部門で採算意識の浸透を図り、責任の明確化と部門ごとの業績目標の設定を行うこととしている。

職員個人が自発的に考え、目標を設定することにより、質の高い医療の提供と患者サービスの向上を図る観点から、人事評価を含めた業務改善のシステムの導入を決定し、その内容を検討した。

この人材評価制度である「Work Editing Service」の本格導入を平成26年2月の新市立病院開院時からスタートさせるため、平成25年度から目標設定と評価の試行を実施している。

2 年度計画の大項目の概要

第1 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

○救急医療

平成 26 年 2 月の新市立病院第一期開院と同時に開始予定の「ER 型救命救急センター」の整備に向けて、市民病院の救急医療体制の整備に取り組み、医師等の当直体制の見直し及び待機体制の新設により、救急患者の積極的な受入れを行った。

市民病院では、救急患者の受入状況等については、医師、看護師、コメディカル等による報告会を毎朝実施し、検証と今後の対策等を検討し、院内での意思の統一を図る体制整備を図った。また 9 月からは休院日の事務職員の当番勤務を行い、病院全体で救急医療の体制整備に取り組んだ。

○高度医療

4 月から形成外科を新設するとともに新設科の周知のため、市内の医療機関の訪問を行った。食道がん手術等の名医及び腹腔鏡下大腸手術等の名医を非常勤医師として招聘し、市民病院において定期的に手術を行っていただくとともに両医師の講演会を開催し、知識・技術の向上を図った。

平成 25 年 1 月から成人病センターに腎臓内科医を 1 名、平成 25 年 2 月から市民病院に循環器内科医を 1 名増員し、各診療部門の強化を図った。

新市立病院においては、血管造影装置を備えた、より高度な手術にも対応できる環境を持つ新たな設備として、循環器内科医と心臓血管外科医が共同で手術を行えるハイブリッド手術室を整備し、また、がん治療の強化のため、高度医療機器の導入を決定した。

○地域の医療機関との連携強化

4 月 1 日から地域医療連携室を「医療連携センター」に改名し、専門の医師を配置して地域の医療機関との連携体制を更に強化した。また、6 月 1 日から、市民病院に患者や家族の満足度の向上と安全性の確保を図るため、入院時オリエンテーション等を入院前に専任者が実施する「入院支援センター」を設立するとともに、持参薬管理センターを併設し、入院前からの持参薬管理により、安全・安心な入院治療を行った。

さらに、地域の医療機関の医師を集め、「ざっくばらんにご意見をうかがう会」を開催し、「新市立病院での診療体制をどのように行うか」、「救急医療にどう取り組むか」、「より良い地域医療を目指して」をテーマに説明を行うとともに意見交換を行い、地域の医療機関との連携を深めた。

○安全安心で信頼できる医療の提供

市民病院の電子カルテシステムや成人病センターのオーダーリングシステムを有効活用し、患者情報や院内情報の共有化の推進に努めた。また、チーム医療については、感染管理専従看護師を中心として、関係部局からメンバーを集めて新たに感染防止対策チーム（ICT）を設置した。

市民病院においては、防犯機能を強化するため、危機管理担当者を配置し、患者及び医療スタッフの安全対策の実施を行った。

○住民・患者サービス

在院日数を短縮し業務の効率化、チーム医療の強化を図るため、クリティカルパス委員会を再編し、パスの種類増加及び適用率の向上に努めた。

接遇向上、院内環境美化等行うため、専任の主幹を配置した。また、より一層の患者サービスの向上を図るため、専任主幹を中心とした「ぬくもり委員会」を設置し、全職員及び委託業者職員を対象として外部講師による接遇研修を開催した。

市民病院においては、ホームページを刷新し、適切な情報発信を行うとともに、院内の掲示物を全て見直し、院内環境美化を推進した。

10月から両病院でクレジットカードによる支払いを可能とし、患者さんの利便性の向上を行った。

○適正配置と人材評価

地方自治法等による職員定数の制約が無くなったこともあり、病院が提供する医療に見合った人員体制を確保するため、医師、看護師及びその他医療スタッフ等の増員に取り組んだ。

特に、看護師については、看護体制の強化による手厚い看護の実施を可能とするため、中期計画の目標でもある「平成25年度中の7対1看護体制の確立」に向け、県外へも広く看護師募集の広報を実施して採用に力を入れた。

また、高度医療を行う新市立病院の体制整備に向け、リハビリテーション、栄養管理、薬剤部門等の強化のための医療スタッフの採用を行った。

人事評価を含めた業務改善のシステムとして「Work Editing Service」の導入を行い、平成25年度から試行を開始する体制を整えた。

第2 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

○業務の見直しによる収支改善

診療科別の経営の状況を把握し・詳細な分析を行うため、分析ソフトの導入を行い、在院日数の短縮等を行った。

収益面においては、新規診療科目の設置による患者獲得と在院日数の短縮を図るなどし、診療単価のアップを行った。

費用面においては、看護師をはじめとした職員の新陳代謝、ジェネリック医薬品の導入による薬品費の削減、契約方法の見直しによる業務委託費の削減に努めた。

第3 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置

○持続可能な経営基盤の確立

給与費の減をはじめ、地方独立行政法人のメリットを活かした価格交渉の徹底等により総合的な経費の削減に努めた。

第4 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置

新市立病院に向けた取り組み

新市立病院の建設事業については、「長崎市新市立病院整備基本計画」に基づき、着実に事業を実施している。長崎市議会において、地元発注の状況の指摘もあり、工事の進捗状況の管理については、今後徹底した管理を行う。

新市立病院の概要については、地元自治会での説明会、各種広報を通じて、広く市民に周知を行っており、また、I期棟の開院を契機に、より市民に親しまれる病院となるため、名称を変更することとしている。

I期棟の開院における「ER型救命救急センター」の設置に向け、医師等の当直体制を見直すなど救急体制の整備に努めている。

3 目標値の達成状況

(1) 医業活動

項目	市民病院				成人病センター			
	23年度実績値	24年度目標値	24年度実績値	達成率(%)	23年度実績値	24年度目標値	24年度実績値	達成率(%)
救急搬送人数(人)(暦年)	2,003	2,000	2,305	115.3	239	285	247	86.7
手術件数(件)	2,033	2,200	2,093	95.1	306	270	190	70.4
紹介率(%)	40.8	48.0	41.0	85.4	58.0	-	56.5	-
逆紹介率(%)	41.9	48.0	49.3	102.7	27.0	-	24.4	-

※下線は達成率50%未満

※紹介率及び逆紹介率市民病院算定式(目標値は小数点以下切り捨て)

$$\text{紹介率}(\%) = \frac{\text{紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100 \quad \text{逆紹介率}(\%) = \frac{\text{逆紹介患者数}}{\text{初診患者数}} \times 100$$

※成人病センターは地域医療支援病院ではないため、紹介率及び逆紹介率の目標値は定めていない。

(2) 住民患者サービス

項目	市民病院				成人病センター			
	23年度実績値	24年度目標値	24年度実績値	達成率(%)	23年度実績値	24年度目標値	24年度実績値	達成率(%)
クリティカルパス種類	68	100	101	101.0	10	14	14	100.0
患者アンケートによる満足度の向上(%)	96.1	96.0	97.5	101.6	86.2	95.0	98.3	103.5

(3) 医師数

項目	23年度 実績値	24年度 目標値	24年度 実績値	達成率 (%)
医師数(人)	77	80	81	101.3

※医師数には、研修医は含まない。

※平成23年度実績値は、平成23年4月1日現在の医師数77人(内訳:市民62人、成人15人)

※長崎市第四次総合計画による目標値として、平成28年度92人としている。

※平成24年度実績値は平成25年3月31日現在の2病院の合計数値を記載

(4) 看護体制(市民病院)

項目	24年度目標値	24年度実績値
7対1看護体制の確立	平成25年度までの整備及び体制維持	平成24年度に看護師採用試験を複数回実施するなど、平成25年度から7対1看護体制に移行できる状態を整えた。

(5) 患者動向

項目	市民病院				成人病センター				
	23年度 実績値	24年度 目標値	24年度 実績値	達成率 (%)	23年度 実績値	24年度 目標値	24年度 実績値	達成率 (%)	
入院 (一般病床)	延べ患者数(人)	123,366	128,115	120,097	93.7	29,042	32,120	25,985	80.9
	1人1日当たり 単価(円)	43,453	44,400	46,059	103.7	41,703	42,050	37,932	90.2
	病床稼働率(%) (病床数)	82.6 (414床)	86.0 (414床)	80.6 (414床)	93.7	82.7 (96床)	91.6 (96床)	74.2 (96床)	81.0
	平均在院日数 (日)	15.1	14.0	14.2	98.6	18.6	18.5	19.2	96.4
外来	延べ患者数(人)	124,864	127,890	125,908	98.5	37,123	39,756	32,916	82.8
	1人1日当たり 単価(円)	12,486	12,500	13,305	106.4	20,586	20,111	22,358	111.2

(6) 経営指標

項 目	市民病院				成人病センター			
	23年度 実績値	24年度 目標値	24年度 実績値	達成率 (%)	23年度 実績値	24年度 目標値	24年度 実績値	達成率 (%)
総収支比率 (%)	102.9	105.9	106.7	100.8	92.6	102.3	95.4	93.3
経常収支比率 (%)	102.2	106.1	105.7	99.6	92.9	102.8	95.8	93.2
医業収支比率 (%)	94.3	97.8	97.9	100.1	79.1	91.1	83.4	91.5
給与費比率 (%)	59.6	54.6	55.6	98.2	71.3	58.4	67.1	87.0
	54.3	51.7	52.7	98.1	63.6	54.6	62.5	87.4
材料費比率 (%)	24.7	23.9	24.1	99.2	29.4	28.3	26.7	106.0
経費比率 (%)	15.5	14.9	14.5	102.8	19.0	17.5	20.0	87.5

※ 給与費比率は、上段に退職手当負担金及び退職給付費用を含んだ比率を、下段にそれらを除いた比率を記載している。

※ 23年度実績値については、公営企業会計制度を地方独立行政法人会計制度に置き換えて（運営費負担金計上科目の置き換え等）算定している。

【参考】中期計画・年度計画記載の実績値（計画に記載の順序）

1 市民病院

指 標		22年度 実績値	23年度 実績値	24年度 実績値	
高度医療	がんに関する相談人数(人)	641	663	641	
	緩和ケア チーム活動	カンファレンス・回診(回)	49	45	45
		院内研修(回)	49	12	11
	がん手術件数(件)	856	729	673	
	急性心筋梗塞手術件数(件)	101	72	102	
	放射線治療件数(件)	5,092	4,631	5,664	
	化学療法件数(件)	1,331	1,071	1,668	
地域医療連携	地域医療講演会開催回数(回)	9	5	16	
	地域医療講演会参加人数(人)	378	172	628	
	医療福祉相談件数(件)	2,248	2,432	2,611	
	開放型病床利用病床率(%)	8.4	4.4	9.2	
	開放型病床への登録医師数(人)	147	138	139	
	あじさいネット年度末累計値(※平成21年11月からの累計値)				
		登録施設数(施設)	36	42	54
	登録人数(人)	361	715	1,083	
	紹介数(人)	210	400	587	
	アクセス件数(件)	5,121	7,963	11,389	
医療安全	医療安全委員会開催回数(回)	12	12	12	
	医療安全研修実施回数(回)	10	13	17	
	薬剤管理指導件数(件)	2,785	1,531	1,623	
対策	感染防止対策委員会開催回数(回)	12	12	12	
	感染防止対策研修の研修実施回数(回)	4	3	6	
拠点 災害	災害訓練の実施回数	年1回	年1回	年1回	
	長崎DMATチーム数	1チーム	2チーム	2チーム	
の医療 外国人へ	外国人患者数(人)	入院	5	2	5
		外来	20	15	6
	外国人延べ宿泊者数(人)	164,335	116,051	128,519	

※外国人延べ宿泊者数・・・長崎市観光部「観光統計」より

指 標		22年度 実績値	23年度 実績値	24年度 実績値
情報発信	情報誌発行回数(回)	12	12	12
	患者・家族向け(院内)	6	6	6
	住民・医療機関向け(院外)	6	6	6
	ロビーコンサート等の開催回数(回)	6	6	8
患者サービス	患者サービスに係る委員会の開催回数	12	12	12
	病院機能評価認定(更新)	Ver. 5	Ver. 5	Ver. 5
	接遇研修開催回数(回)	1	1	6
	ボランティア登録数(人)	9	8	8
適正配置	看護師数(2病院合計)	416	382	387
	医療技術員数(2病院合計)	93	93	94
	医師事務作業補助者数(2病院合計)	9	32	32
	初期研修医受入数(2病院合計)	7	5	8
研究	治験実施件数(件)	14	13	8
	製造販売後調査件数(件)	54	47	25
	臨床研究件数(件)	25	22	21
	学会発表件数(件)(暦年)	124	190	130
	論文件数(件)(暦年)	43	31	51
研修	認定看護師資格取得支援人数累計(人)	2	5	7
公開	診療録開示件数(件)	14	35	38
事務部門	事務職員数(正規職員(再任用職員を含む。)数)	39	40	45
	現業職員数(正規職員(再任用職員を含む。)数)	1	1	1

※適正配置及び事務部門欄における実数値は、平成22年度・23年度は4月1日現在、平成24年度は3月31日現在の2病院の合計数値を記載

2 成人病センター

指 標		22年度 実績値	23年度 実績値	24年度 実績値	
医療	開心術件数(件)	24	16	0	
医療安全	医療安全委員会開催回数(回)	12	12	12	
	医療安全研修実施回数(回)	3	2	2	
	薬剤管理指導件数(件)	347	759	371	
対策	感染防止対策委員会開催回数(回)	12	12	12	
	感染防止対策研修の研修実施回数(回)	2	2	2	
結核・感染症医療	感染症患者数(人)	入院	0	0	0
	結核患者数(人)	入院	4,691	3,640	3,483
		1日最大入院患者数	20	16	13
		1日最大排菌患者数	18	15	11
	透析患者数(人)	入院	5,303	3,986	3,768
外来		11,494	12,088	11,628	
情報発信	情報誌発行回数(回)	1	1	10	
	患者・家族向け(院内)	—	—	9	
		住民・医療機関向け(院外)	1	1	1
	ロビーコンサート等の開催回数(回)	6	1	2	
患者サービス	患者サービス検討委員会開催回数	12	12	12	
	接遇研修開催回数(回)	1	1	1	
	ボランティア登録数(人)	0	0	4	
研究	治験実施件数(件)	1	7	0	
	製造販売後調査件数(件)	15	17	7	
	臨床研究件数(件)	7	17	4	
研修	認定看護師資格取得支援人数累計(人)	0	1	1	
公開	診療録開示件数(件)	3	4	1	